

全日本遊技事業協同組合連合会・理事長

原田 實

新年あけましておめでとうござ
います。

皆様方には、益々ご健勝で輝か
しい平成22年の新春を迎えられま
したことを心からお慶び申し上げ
ますとともに、平素からのご指導
ご支援に対しまして、心から厚く
御礼申し上げます。

昨年は、その前年から続く世界
的な経済不況等により、先行き不
透明な空気が蔓延するなか新年を
迎え、明るい一年のスタートと言
えるものではありませんでした。

昨年1月に開催した新年全国理
事会においても、こうした苦しい
業況の中、全国のホールをどのよ
うに導いていくべきなのか、全口
遊連の理事長という重責に、身を
引き締める思いで挨拶させていた
だきました。そんな年明けから始

まった昨年ではありましたが、私
たち全日遊連、また業界全体にと
って多くの前進がありました。

まず、昨年の年明け早々に、私
が予てから掲げている業界全体の
総親和という方針に則った取り組
みが1月30日に開催したパチン
コ・パチスロ産業賀詞交歓会にお
いて発表することができました。
全日遊連、日遊協、日工組、日電
協により「大量導入優先販売」や
「抱き合わせ販売」等の是正を目的
とした、いわゆる4団体合意は、団
体の垣根をこえた団結であります。
それを契機に、各地ではメーカ
ー、販社等を招き、不公正な販売等
の是正に向けた意見交換会も開催さ
れ、その意識と気運はさらに高まっ
ております。この流れを遮ることな
く、今年は業界の商慣習の正常化を

より実効的に推し進めていきたいと
思っています。また、12月には、業
界関係団体で諸問題を共有し、心を
一つにすべく、2年ぶりに21世紀会
を開催いたしました。

次に、長年の懸案でありました、
遊技産業健全化推進機構の経費負
担について、全日遊連が11月に開
催した理事会の決議により、暫定的
な状態に終止符を打ち、一定の方向
性を出すことができました。これも
ひとえにそれぞれの痛みを超えて、
業界総親和に向けたご理解をいただ
いたものと受け止めています。

環境関係の取組では、全日遊連
が策定した「全日遊連環境自主行
動計画」に基づくCO2排出量削
減のための電気使用量調査を行い、
前年に比べホール数が減少してい
るにも関わらず、それを上回る回
答率を得ることができました。今
後、回答の結果をまとめ、環境問
題改善に向け、着々と取り組みを
進めてまいります。

全日遊連の支援により設立した
ぱちんこ依存問題相談機関リカバ
リーサポート・ネットワークも、
昨年10月にNPO法人化し、また
それを機に他団体への支援要請を
行い、一部団体からはともに支援
をしていこう、との声をいただい
ております。依存問題は、ホール
のみで対応すべき問題ではありま
せん。将来的には、各団体から賛
同をいただき、業界全体で費用を
負担し、同機関の活動を支援して
ゆきたいと考えております。

ホール営業の経営安定のための金
融環境改善に向けた取り組みも、社
会の動きに呼応して、全ホールを対
象とした信用保証と公的融資の獲得
を目標として、弛まず進めてまいり
ます。この問題は、単なるホール経
営の安定のみならず、私たちパチン
コ店を営む者の誇りとアイデンティ
ティに関わる重要な問題であります。
昨年は、政権交代等もあり社会
全体に大きな動きがありました。

我々の業にも今後様々な形で影響
がでてくることが予想されます。
しかしながら、私たち遊技産業は
国民的大衆娯楽として、健全経営
により一般社会から愛され親しま
れるべく、努力を続けてゆくことに
変わりはありません。全日遊連とい
う組織一丸となった施策があつてこ
そ社会から信頼を得、業界の安定に
つながってゆくのだと思います。

昨年に比べ、廃業店舗数の推移
もどうか下げ止まったようです。
また最新のレジャー白書によると、
平成20年は、パチンコ参加人口、
参加率、年間の遊技回数、参加希
望率など、いずれも前年の調査に
比べ回復しております。

この流れを今年につなげ、今年
こそ私たちにとって、輝かしい年
になるよう、皆さまのご協力、ご
支援を重ねてお願い申し上げます
とともに、皆様のご健勝とご多幸
を祈念申し上げ、私からの年頭の
挨拶とさせていただきます。